東急テクノシステム

報道関係各位

２０２６年１１月２６日

東急テクノシステム株式会社

【鉄道運転シミュレータを搭載したマイクロバスを開発】

東急電鉄６０００系・９０００系車両を外装ラッピングで忠実に再現

移動式シミュレータカー「ＲｉｄｅＬＩＶＥ™（ライドライブ）」

２０２７年２月より順次イベント展開予定

東急株式会社の連結子会社である東急テクノシステム株式会社（社長：北村 公大、本社：神奈川県川崎市、以下：東急テクノシステム）は、東急電鉄株式会社（以下：東急電鉄）協力のもと、鉄道運転シミュレータを搭載したマイクロバス「ＲｉｄｅＬＩＶＥ™（以下：本車両）」を開発しました。

※特許出願中







本車両は、東急テクノシステムがマイクロバスをベースに改造を行い、内装には鉄道車両の客室空間と乗務員室空間を再現し運転シミュレータを搭載、外装には実際の鉄道車両を忠実にラッピングで再現しています。

乗務員室空間には、東急電鉄の車両で実際に使用されていた部品を活用した運転シミュレータを搭載し、さながら運転士視点でのリアルな運転体験をお楽しみいただけます。（※大井町線全線の運転が可能）

客室空間には、東急電鉄の車両で実際に使用されていた部品や座席をリユースし、さながら本物の車両に乗車しているかのような臨場感あふれる空間を演出。窓を模した大型の液晶モニタには、運転シミュレータと連動して流れる沿線風景を映し出し、没入感と臨場感を実現しています。

外装デザインはフルラッピングとし、片方には大井町線の６０００系車両を、もう片方には同じく９０００系車両を忠実に再現し、前後左右どこから見ても楽しめる仕様としています。

車両名称の「ＲｉｄｅＬＩＶＥ™」は、Ｒｉｄｅ（乗る）・Ｄｒｉｖｅ（運転する・移動する）・Ｌｉｖｅ（体感する・生きた体験）を掛け合わせており、本車両を単なる“運転シミュレータを搭載したバス”ではなく、“新しい鉄道文化・体験価値を生み出し継承するブランドとして育てていきたい”という思いを込めています。

２０２７年２月から本車両の魅力をお伝えする体験イベントを実施、車両レンタル受付・カスタマイズ車両の受注生産開始は２０２７年１１月を予定しています。訓練・教育現場における運転士育成教材へのご活用から、商業施設等のイベント・プロモーションにおける集客コンテンツまで、幅広い用途に合わせたオリジナルの車両製作にも対応しています。東急テクノシステムが長年培ってきた「車両改造技術」と、鉄道・バス・航空といった幅広い分野の「シミュレータ開発」ノウハウを結集し、これまでにない“見て、乗って、ときめく極上の鉄道体験”を全国にご提供してまいります。

■ 車両概要

車両名：「ＲｉｄｅＬＩＶＥ™（読み：ライドライブ）」
販売先：鉄道事業者、商業施設事業者、イベント会社、アミューズメント施設、教育機関など
特設ＷＥＢサイト：https://tts-simulator-car.com

■ 開発背景

鉄道運転シミュレータコンテンツは、施設固定型が主流であり、それにより設置場所や運用面の制約から多くの方に体験いただく機会の拡大が課題となっています。今回、東急テクノシステムが長年培ってきた「車両改造技術」と「シミュレータ開発」ノウハウを活用し、マイクロバスをベースとした移動式コンテンツを製作。鉄道運転シミュレータを搭載したマイクロバス「ＲｉｄｅＬＩＶＥ™」を開発しました。本車両の導入により、複数拠点を巡る商業施設等のイベント・プロモーションにおける集客コンテンツとしての活用や、職業体験や大学機関等での研究活用を見込みます。

■ 開発担当者コメント

「ＲｉｄｅＬＩＶＥ™」開発のきっかけは、バスに乗車した際の室内空間と揺れが、鉄道車両の室内空間と揺れに似ていると感じたことでした。「当社の車両改造技術とシミュレータ開発技術を掛け合わせることで、“バス車両で鉄道乗車体験を提供する”というこれまでにない魅力あふれる体験価値をつくり出せる」と考え、開発に取り組みました。当社の各施工部門のプロフェッショナルや東急電鉄のみなさまとともに、開発に取り組み、本車両が誕生しました。

最大の特徴は、「車両ならではの機動力」です。これまでのシミュレータコンテンツは施設や場所に縛られ、体験者がその場所へ足を運ぶ必要がありましたが、本車両では“移動式”という特性を活かし、車両自ら体験者のもとへ出向くことが可能となります。

車両改造からシミュレータ開発まで一手に手掛ける当社だからこそ生み出せる“本物さながらの鉄道運転体験”を全国各地へお届けし、本車両をきっかけとした賑わいづくりや、次世代の鉄道ファン・担い手づくりに貢献してまいります。

車両デザイン　イメージ※



【リア・右サイド】
東急電鉄９０００系車両を模したデザイン



【フロント・左サイド】
東急電鉄６０００系車両を模したデザイン

※ 車両デザインはイメージであり、変更になる場合があります。



乗務員室空間　イメージ



客室空間　イメージ

■ コンテンツ内容※1

（１）運転シミュレータ体験（東急電鉄大井町線全線の運転が可能　※順次、路線追加予定）
（２）乗車体験（運転シミュレータと連動した車窓の流れ・走行音・アナウンス音などの体感）

■ サービスパッケージ※2

（１）鉄道事業者、商業施設事業者などへの車両レンタル
（２）カスタマイズ車両の受注製作

■ 今後のスケジュール※3

２０２７年２月　　お披露目・先行体験イベントの実施※4
　　３月以降　本車両の魅力をお伝えする体験イベントの実施
　　１１月　　第１０回鉄道技術展への出展
　　レンタル受付・受注生産開始

※１　コンテンツ内容は、順次追加・変更予定です。
※２　個人のお客様への販売は予定しておりません。
※３　今後のスケジュールは、現時点の予定であり諸事情により変更になる場合があります。
※４　詳細は決定次第、特設ＷＥＢサイト等でお知らせします。

■ 会社概要

会社名　：東急テクノシステム株式会社
所在地　：神奈川県川崎市中原区今井上町１１番２１号
設　立　：１９４０年３月
事業内容：建設業（電気・通信）、自動車特定整備事業
資本金　：４億８千万円
ＵＲＬ　：https://www.tokyu-techno.co.jp/

リリース使用素材一式　ダウンロード：https://x.gd/1FoUD

【報道関係者の問い合わせ先】
東急テクノシステム PR 事務局（オズマピーアール内）　担当：鶴見・小林・岩垂
Ｍａｉｌ：tokyu-techno-pr@ozma.co.jp
Ｔｅｌ：０８０-５９１６-８６９０（鶴見）／０７０-４５４０-７０７３（小林）